

レポートの考え方

- * この講習内容の考え方は、アカデミックライティングの観点に立ったものです。
- * この講習内容とライティングサポートセンター作成の資料「レポート書式見本」とをあわせて見てもらえると効果的です。
- * 資料「レポート書式見本」は、アカデミックライティングの観点に立って作成したのですが、本学社会学部社会学科の仕様になっています。この点に注意し、求められている仕様にあわせて、適宜あらためてとらえてください。

概要

ライティングサポートセンター講習会 ——レポートの考え方——

0. 前提

1. 論証型レポートの基本構成
2. 序論・本論・結論の役割
3. まとめ

ライティングサポートセンターの紹介・説明

ライティングサポートセンターとは
よくある質問
本年度の開室

0. 前提～みんなの戸惑いの声～

- ・ 何から始めたらいいの？
- ・ 何を書いたらいいの？
- ・ どういうふうに書いていくの？
- ・ レポートって何に気をつければいいの？
- ・ そもそもレポートって何なの？

0. 前提～レポートのタイプを知る！～

◆整理型レポート

読んだこと、調べたこと、実験したことを
まとめて考察を加える。

出題例) 琵琶湖の環境問題にはどのようなものがあるか。

◆論証型レポート

何かに対する自分の考えを論証する。

出題例) 琵琶湖の環境問題についてあなたはどのように考えますか。

0. 前提～難しく感じるタイプは論証型～

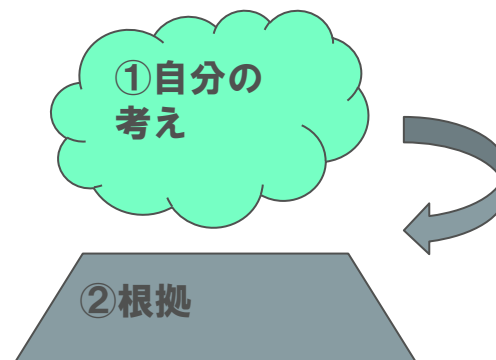
ここでいう**論証**とは、

自分の考えを根拠にもとづいて論じること

<考える順番>

①自分の考え

②根拠



難しく感じるのは、まず自分の考えがあやふやだから！

自分の考えを決めないままに論証するのは無理。

0. 前提～難しく感じるタイプは論証型～

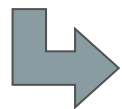
- ・「答え」をだすには「問い」が必要
- ・自分なりの問いを立てずに考えようとするから難しい！

(例)

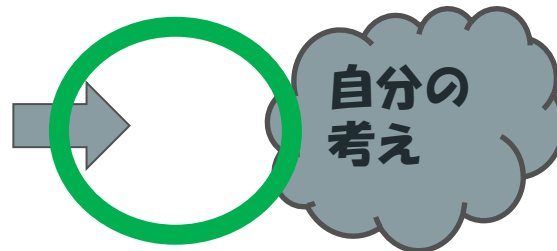
・課題「環境問題について自分の考えを論じよ」



・課題「環境問題について自分の考えを論じよ」



自分なりの問い



自分の考えをだすには**自分なりの「問い」**が必要！

1. 論証型レポートの目的と基本構成

◆目的：自分の考え(主張)を読者(先生)に納得
してもらうこと

◆基本構成：序論・本論・結論の三部構成

2. 序論・本論・結論の役割

2-1. 序論

①問いの設定

問いであることがわかりやすいように表現する。

②設定した問いの重要性

設定した問いがなぜ重要なのかを説明する。

③問いに対する仮りの答え(主張)

設定した問いに対して「〇〇ではないか」「〇〇であることを明らかにする」など、自分の主張(結論)となることを記しておく。

④今後の論のすすめ方

本論の部分で展開する内容の順序を示しておく。

2-2. 本論

主張を支える根拠の提示と、その根拠から主張を導くこと(=論証)。具体的には、「今後の論のすすめ方」に則った展開で、次の①②を記す。

①「仮りの答え」に対する根拠(情報整理)

② ①の考察

*「考察」は問い・仮りの答えに寄りそわせて、①を説明しなおすこと。

◆本論の考え方

論文全体の主張(序論の③)に対して、各章が担う意味を考える。各章で明らかにする範囲を決め、各章で明らかになったことが段階として、あるいは側面として、集約されたときに、論文全体の主張に結びつくようにする。

2-2. 本論

◆注意点——引用のしかたと意味づけ

○引用の種類

- ・直接引用(「」引用、ブロック引用)
- ・間接引用(要約引用)

○留意すること

- ・引用であることが容易にわかるように示す。
- ・引用部分に過不足がないかを確認する。
- ・要約引用でも、キーワードとなることや、重要な句や文節を「」引用で盛り込む。
- ・引用の前に、どのような意味で引用するのかを記す。
- ・引用の後に、引用した内容を論旨にそわせて説明する。

2-3. 結論

問い、本論における論点のポイント、答え（仮りの答え=主張）
を簡潔にまとめる。

◆ 注意点

- ・序論・本論に記していない、新たな話題を展開しない。
- ・ただし、論文の場合は、課題を記してもよい。
- ・結論で示された主張を、序論で記されたことと適切に対応させる。

3. まとめ

序論

- ① 問いがわかりやすい形で提示できているか。
- ② その問いがなぜ重要なのかを説明できているか。
- ③ 問いと仮りの答え(主張)が的確に対応しているか。
- ④ 仮りの答え(主張)を論証していくための手順が示せているか。

本論

- ⑤ ④の順序で展開できているか。
- ⑥ 各章で明らかにする範囲が明確に示せているか。
- ⑦ 各章で明らかにすることと根拠が適切に対応しているか。
- ⑧ 各章で明らかにすることと根拠の関係を説明できているか。
- ⑨ 各章で明らかにすることが段階として、あるいは側面として集約され、主張に結びついているか。

結論

- ⑩ 問い、本論における論点のポイント、主張が簡潔にまとめられているか。
- ⑪ 序論・本論になく、課題でもない、新たな話題が記されていないか。
- ⑫ 序論と結論が適切に対応しているか(問いと主張の対応)。

ライティングサポートセンターとは

- 書くことに関わる悩みを相談する場所です。レポート、卒論・卒研はもちろん、資料の探し方、本の効率的な使い方、ゼミ発表の仕方などにも応じます。
- 「答えを教える」ところではありません。大学院生を中心としたチューターがアドバイスをしたり、いっしょに考えたりして対応します。
- あらかじめ相談すべき具体的な疑問を用意しておいてもらえると効率的に対応できます。しかし、漠然とした疑問や何を聞いたらいいいのか分からないけれども不安があるという状態であってもかまいません。気軽に相談してみてください。

よくある相談

- レポートを書いたことがないので、そもそもレポートの書き方がわからない。
- 書いてみたレポートが、適切に書けているかを確認してほしい。
- 注や参考文献は、どのように書けばよいのか。
- テーマは決めたものの、その後をどうしたらよいのかわからない。
- テーマが決まらず、どうしたらよいのかわからない。
- 問題設定ができない。
- 資料が見つからない。
- レジューメの書き方がわからない。
- 字数が足りない／多くなりすぎる。 など

本年度の開室

- WEBでの相談対応とします。
- 方法は、ポータルサイト等であらためて連絡します。
- 5月中旬にはじめる予定です。